

第 239 回
定例探鳥会

日 時 : 2006 年 11 月 12 日 (日) 天 候 : 晴
コ ー ス : 高来神社 高麗山 八俵山 浅間山 一等三角点

気持ちよく晴れわり暖かな秋の朝を迎えました。高来神社の境内の大木にツグミとシメがとまっていた。イカルの声が遠くから聞こえてきました。高麗山の方を見ると中腹をイカルの群れが横切りました。その後も次々と現れ、約 40 羽を数えました。神社の上空を約 30 羽のドバトの群れが飛び回っていましたが、ムクの木にとまって実を食べ始めました。ドバトが多数の群れで木の実を食べるといふ光景はあまり見ることはないように思います。南から北のほうへ飛ぶ約 30 羽のツグミの群れも見られました。

歩き始めて森に入ると、上の方からヒガラの小さな声が聞こえてきました。この冬はヒガラがいろいろなところで見られています。途中の南側が開けたところでは、江ノ島や湘南の海岸は当然ですが、大島、利島、伊豆・箱根方面、房総半島などをクッキリと見る事ができました。大堂では聞きなれない声が聞こえてきました。しばらく様子をうかがっていると木々の間にソウシチョウが見えました。日のあたらない暗いところですが、10 羽くらいの群れがときどき小さな声で鳴きながら移動していきました。上空を見上げると木々の梢に囲まれた空間を飛ぶヒメアマツバメが見えました。オオタカも悠然と横切っていました。八俵山からは花水川がよく見えます。望遠鏡で観察した人がサギやカモなどを見つけました(下表の参考記録を参照)。

この日は午後から横浜で神奈川支部の BINOS 発表会があるので、少しスピードを上げて一等三角点まで歩きました。暖かくうっすらと汗をかきましたが、気持ちよく歩くことができました。

参 加 者		参加人数 29 名 (敬称略)		
1. 八木 正	2. 下倉 統一	3. 山田 文則	4. 鈴木 逸子	5. 瀬尾 隆
6. 西花 きよみ	7. 福本 俊司	8. 古尾谷 七郎	9. 小島 興一	10. 小島 キヌ子
11. 吉田 宣子	12. 玉置 清	13. 玉置 英子	14. 佐藤 博和	15. 小野 肇
16. 平塚 津矢子	17. 霜島 秀子	18. 森田 義雄	19. 片倉 暹	20. 沢田 興三
21. 武末 範子	22. 松下 弓子	23. 谷川 浩	24. 松本 鈴子	25. 中村 豪夫
26. (田端 裕)	27. (金子 典芳)	28.(内山 規矩雄)	29. (岩佐 昌夫)	

見聞きした鳥		種類数 26 種 (sp を含む)		
1. トビ	2. オオタカ	3. キジバト	4. ドバト	5. ヒメアマツバメ
6. コゲラ	7. キセキレイ	8. ハクセキレイ	9. ヒヨドリ	10. モズ
11. ツグミ	12. ウグイス	13. エナガ	14. ヒガラ	15. シジュウカラ
16. ヤマガラ	17. メジロ	18. アオジ	19. カワラヒワ	20. シメ
21. イカル	22. スズメ	23. カケス	24. ハシブトガラス	25. ソウシチョウ
26. ガビチョウ				

参考(八俵山から見た花水川で確認) : カイツブリ、カワウ、コサギ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オオバン

第5回 BINOS 発表会

11月12日(日)、野鳥の会神奈川支部の第5回 BINOS 発表会が横浜神奈川近代文学館で開催されました。こまたんはこのところ続けてアオバト関連の研究を発表してきましたが、今回は一休みです。代わりにこまたん関係者では、山田さんと朝倉さんによる「シラサギの埤調査(上平塚・平塚大橋の竹藪)」と白田さんによる「ドバトの肉類採食の観察」の2編が発表されました。

山田さんは、2004年から2005年にかけてこつこつと積み上げてきた観察記録と平塚市の鳥「シラサギ」を関連させて話し、この竹藪を「いつかはコロニーにしてあげたい」という思いを訴えました。ちょっと風邪気味で喉の調子があまりよくなかった朝倉さんが、サギ類の渡りの様子を観察したときの山田さんの感想を情感を込めて朗読するという新たな試みで、サギに対する思いを聴衆に伝えることができました。

白田さんは、手違いで論文の掲載が次号になってしまうというハプニングにめげずに、自身で体験したドバトの肉類採食の観察記録を発表しました。チャーハンや焼肉など、食堂のメニューを思わせる写真が登場したりして、聴衆の興味をひきつけていました。発表者本人が一番楽しそうに見えました。

こまたんからは10人ほどの応援隊が駆けつけましたが、立派な会場に空席が多かったのがちょっと残念でした。帰途に発表者も含めて、横浜で反省会を楽しく行うことができました。



金目川探鳥会

11月19日(日)、小雨の降る肌寒い天候の中で金目川の探鳥会が行われました。

この探鳥会は、平塚市の社会教育課が地元の自治会や東海大学と連携して進めようとしている「金目エコミュージアム」という動きの一環として行われたもので、平塚市博物館の浜口館長からこまたんに応援の依頼がありました。

午前9時の集合時間。指定された立堀親水公園には望遠鏡をかついだ探鳥会のお手伝いを頼まれたこまたんのメンバー10名が集まってきたのですが、探鳥会の参加者らしい人は全くやってきません。雨なので中止になったのかなと思っていると、集合場所が違っているという連絡が入りました。あわてて3台の車に分乗して本当の集合場所である「金目親水公園」に向かいました。ここには浜口館長をはじめとして20名ほどの参加者が集まっていました。30分ほど遅れて改めて探鳥会が始まりました。東海大学の校舎が近くに見える田んぼの中の公園で簡単な説明の後、目的地の金目川に向かいました。

川に出る手前の畑地では上空を飛ぶツグミやシメの群れ、モズ、ジョウビタキ、ヒバリなどが見られました。ハシブトガラスが農家の庭先から柿の実をくわえて飛び出し、積み重ねた藁の上で食べ始めました。そのすぐ横の葦の群落の中で動いているホオジロを見ていると、「ホオアカもいるぞ」という声が……。改めてよく見直すといました、いました。ホオアカは最近あまり見るができなくなった鳥です。この葦の中にはカシラダカもあり、3種のホオジロ類が見られました。

川を上流に向かって歩きました。川原では活発に動き回るキセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、

タヒバリが見られ、4種のセキレイ類を観察できました。群れで飛び回っているのはカワラヒワです。対岸の木の梢に何か止まっているので望遠鏡でのぞくと、ノスリでした。じっととまっていたので全員が望遠鏡でしっかりと見ることができました。思いがけないタカの出現に皆さんちょっと興奮気味でした。カワセミに歓声が上がったのはいうまでもありません。

約2時間歩いて初めの公園に戻りました。鳥合わせでは浜口館長愛用の鳥の絵を見せながら金子さんが説明しました。傘もほとんど必要がなく、探鳥会としては大成功でした。こまたんとしては初めての場所で、一番楽しんだのはこまたんメンバーではなかったでしょうか？



観察された鳥(30種):アオサギ、コサギ、ノスリ、カルガモ、イカルチドリ、イソシギ、セグロカモメ、キジバト、ドバト、カワセミ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、メジロ、ホオジロ、ホオアカ、カシラダカ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【お知らせ】

鷹取山・吉沢自然観察会(第53回市民探鳥会)

日時: 12月17日(日) 9時15分から 雨天中止

コース: 東の池 谷戸川 鷹取山 霧降の滝 松岩寺

集合: 神奈中バス「生沢」バス停前 東の池 午前9時

JR平塚駅北口 地下道降り口付近 午前8時15分(8:30発のバスに乗車)

JR二宮駅南口 階段下 午前8時30分(8:45発のバスに乗車)

持ち物: お弁当と飲み物(コースの周辺にはお店やコンビニにはありませんので必ず用意してください)、帽子、衣類、筆記用具、雨具、あれば双眼鏡・図鑑など

ご注意: 集合場所と解散場所が違いますので、車で参加の方はご注意願います。コースにはトイレがありません。ご承知おきください。コース終点の松岩寺にはあります。

参加自由・申し込みは不要です。

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 2007年1月6日(第1土曜日)

鷹取山 2007年1月13日(第2土曜日)

午前7時(冬時間で1時間遅くなっています)に高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合、車で移動します。または7時15分までに、第1土曜日は松岩寺駐車場、第2土曜日は東の池に直接来られても結構です。参加の連絡は不要ですが、いずれも時間が来れば出発してしまいますので、時間厳守でお願いします。午前中に解散。雨天中止。

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

アオバト情報

11月24日(金) 6:57 アオバト1羽が山側(大磯駅の方)からエリザベスサンダースホームの森に入る。

おこまはん(こまたん大阪支部)から、今年も京都御苑でアオバトが見られるようになったとの報告

花水川・平塚大橋付近のサギとムクドリのねぐら調査

観察日	天気	アオサギ	ダイサギ	チュウサギ	アマサギ	コサギ	ゴイサギ	サギ合計	ムクドリ
11/8		1	0	2	0	5	0	8	3000
11/14		0	0	0	0	0	0	0	3000
11/24		0	0	0	0	0	0	0	5000

サギ類の姿が見えなくなりましたが、ムクドリが塹に戻ってきました。3,000~5,000羽が集まってきます。

その他の野鳥情報

各地から「今年の冬鳥は順調」という声が聞こえてきますが、こまたんのフィールドでも同様の状況のようです。

ウソ : 11/8 宮ヶ瀬・早戸川林道、 が沢に降りて湿った岩盤を突く

11/13 横浜市青葉区、1羽

11/26 花水川、 1羽が木の梢にとまる

12/2 平塚市吉沢、5羽が採食、 3(アカウソ2) 2

鷹取山、高麗山などでも多くの群れが観察されている

ベニマシコ : 11/4 平塚市土屋、谷戸の奥の湿原、 1羽

11/8 宮ヶ瀬・早戸川林道、多数

11/26 花水川、 1羽

カシラダカ : 11/4 平塚市土屋、約40羽、初認

11/26 花水川

タヒバリ : 11/4 平塚市遠藤原、約30羽、初認

ツグミ : 11/4 平塚市吉沢、土屋、多数、初認。その後各地で多数が見られている

ヒドリガモ : 11/5 渋田川(玉川橋の下流) 2 1、初認

オシドリ : 11/8 宮ヶ瀬湖。平塚市吉沢の吉沢の池でも見られている

オナガガモ : 12/6 鎌倉(八幡宮の池)、15羽

カヤクグリ : 11/18 大磯町生沢、境川、1羽の声を聞いた。宮ヶ瀬・早戸川林道でも観察されている

ヨタカ : 11/18 鷹取山のカウント調査で尾羽を拾う。昨年5月にも土屋のカウント調査で尾羽を拾っています。平塚や大磯にもヨタカは来ているのですね。

ヒガラ : 11/25 平塚市明石町(市街地の公園)、1羽。他にもいろいろなところで多数見られている

ミサゴ : 11/26 花水川、2羽が相模川の方へ悠然と飛び去る

その他の冬鳥としては、マガモ、コガモ、ユリカモメ、セグロカモメ、ルリビタキ、シロハラなどが記録されている

次回の定例探鳥会は2007年1月14日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第238号 / 12月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>